

2019年10月9日
公益財団法人イオンワンパーセントクラブ

2019



**日本と中国の高校生140名が中国で再会
日本 中国 ティーンエイジ アンバサダー事業」を実施**
- 日中青少年交流推進年記念事業 -

公益財団法人イオンワンパーセントクラブは、10月14日（月）から、中華人民共和国（以下、中国）の高校生と日本の高校生140名が7日間の交流活動を通じて親交を深める「日本 中国 ティーンエイジ アンバサダー（高校生交流）事業」を中国で実施します。

このたびの交流では、本年7月の「日本 中国 ティーンエイジ アンバサダー事業」日本招聘プログラムに参加した、北海道、東京、愛知、三重の70名と中国の北京市、武漢市、蘇州市の70名、計140名の高校生が中国で再会し、「ティーンエイジ アンバサダー」として、中国外交部、及び北京市人民政府の表敬訪問などを行います。また「経済発展と環境の調和」をテーマに、資源循環施設の見学等を行う他、北京市、武漢市、蘇州市の3エリアに分かれ、各地での歴史・文化体験や授業体験、ホームステイを通じて親交を深めます。当財団は、柱となる3事業※2のひとつに「諸外国との友好親善の促進」を掲げ、1990年より、アジアを中心とした国々と日本の高校生が互いの国を訪問し、交流する「ティーンエイジアンバサダー事業」を行っており、これまでに18カ国の高校生、累計2,810名が参加しています。なかでも日中両国の高校生の交流は、2009年に実施した北京市での事業が、中国政府ならびに両国の参加者から高い評価を受けたことから、以降、毎年開催しており、参加者はのべ1,411名にのぼります。

なお、本事業は、両国の青少年の交流を促進するものとして、外務省より「日中青少年交流推進年記念事業」に認定されています。

当財団はこれからも、日本と中国の未来を担う若者に相互理解を深める機会の提供を通じ、両国の友好親善の促進に資する活動を続けてまいります。

【2018年度の「日本 中国ティーンエイジ アンバサダー事業」の様相】



中国外交部を表敬訪問する日中高校生



万里の長城にて太極拳を体験

※ 公益財団法人イオンワンパーセントクラブが行う3つの事業

「①:次代を担う青少年の健全な育成」、「②:諸外国との友好親善の促進」、「③:地域社会の持続的発展」

【プログラム概要】

1. 期 間 2019年10月14日(月)～10月21日(月)
2. 参加者 北京市、武漢市、蘇州市の高校生 70名
北海道、東京都、茨城県、愛知県、三重県の高校生 70名
3. 実施地域 北海道、東京都、茨城県、愛知県、三重県
4. 交流ペア ①北京市と東京都 筑波大学附属高等学校 10名
東京学芸大学附属高等学校 10名
茨城県 東洋大学附属牛久高等学校 10名
②武漢市と北海道 立命館慶祥高等学校 10名
札幌日本大学高等学校 10名
③蘇州市と愛知県 名古屋大学教育学部附属高等学校 10名
三重県 三重県立四日市高等学校 10名
5. 行動予定
10月14日(月) オリエンテーション(日本の高校生のみ)
10月15日(火) 北京市人民政府表敬訪問
中華人民共和国外交部表敬訪問
在中華人民共和国日本国大使館での質問会・歓迎会
10月16日(水) 万里の長城(八達嶺)視察・北京排水集団視察・中国雑技鑑賞視察
10月17日(木) ※以降、エリアごとに分かれて交流
①東京都・茨城県の学生 北京都市計画展覽館視察、
天安門広場視察、故宮視察
②北海道の学生 武漢市人民政府外事弁公室表敬
武漢園博園視察・長江文明館視察
③愛知県・三重県の学生 蘇州市人民政府
山塘街視察・古運河遊覧体験
10月18日(金) 授業体験、ホームステイ
10月19日(土) ホームステイ
10月20日(日) ホームステイ、フェアウェルパーティ
10月21日(月) 帰国